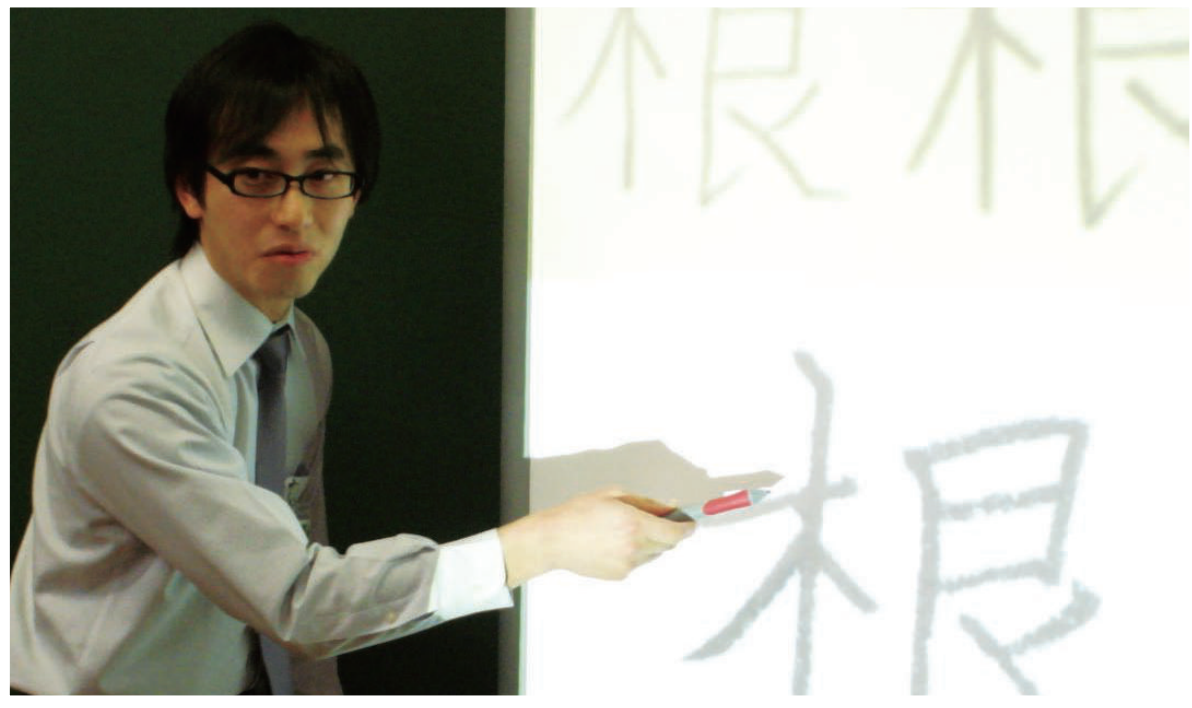


イメージで伝えて理解を深める授業



授業のねらい・ポイント

- ・手本をよく見て書けるようにする。
(文字の形や文の中心に注意して)
- ・集中して1枚の作品を仕上げられるようにする。

授業の展開

- ① 試書
- ② 電子黒板で説明
 - ・自分たちの字と手本の字を比較
 - ・中心のずれた文と正しい文の比較
- ③ 清書

利用した教材・コンテンツ

自作コンテンツ

電子黒板を使う上でのねらい

- ・自分の字と手本の字を比較することで、手本をよく見て書いていなかったことに気づかせる。
- ・文章の中心をそろえることで、文章がキレイに見えることに気づかせる。

電子黒板を使ったことによる効果

- ・児童が実際に書いた字を電子黒板上で操作できるので説得力が増した。(自分たちの字が映し出されるので意欲や集中力が増した。)
- ・多くの児童の字を映し出せたことで、一斉指導による理解度を深めることができた。
- ・説明の時間を短縮できたことで、児童の活動時間を増やすことができた。

電子黒板の設置面での工夫

黒板の前面が見えるように電子黒板を設置した。(黒板には、本時のめあてや流れを書き残しておくため)



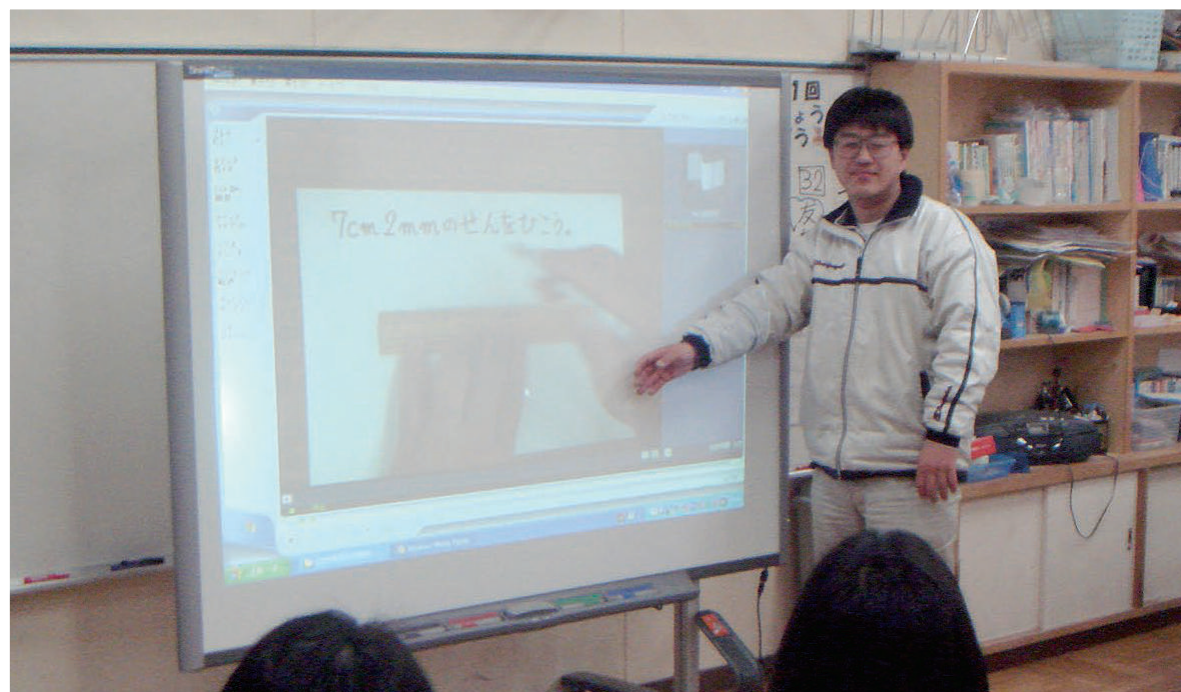
～ 金井先生からの一言 ～

自分の作品が大きく提示される喜びは、次の活動への意欲付けとして効果が高いと思います。また、指導上のポイントとなることをかき込みながら説明を行うことにより、指示語を多用しても直観的に理解を促すことができるので、難しい言葉を使わなくてもいいという意味で特に小学生には効果的ですね。手本をなぞってオブジェクト化し、それを移動して児童の作品に重ねてみたりすると楽しいかもしれませんね。





リアルなお手本を何度も何度もくり返し



授業のねらい・ポイント

30cm ものさしを使ったある指定された長さ（○ cm ○ mm）の直線の引き方（手順や方法）を理解し、その習熟を図る。

授業の展開

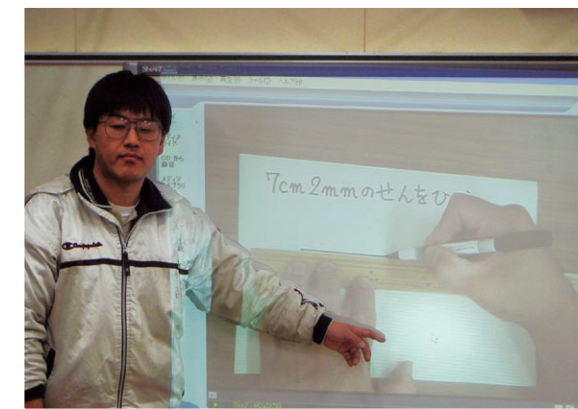
- ① 30cm ものさしを使っての直線の引き方を説明する。
（電子黒板を使用して直線の引き方の動画を見る）
- ② 30cm ものさしを使った直線の引き方の順序を整理する。
（電子黒板を使用して直線の引き方の動画を何度か繰り返し見て見る）
- ③ 30cm ものさしを使って、いろいろな長さの直線を引く練習をする。

利用した教材・コンテンツ

自作の動画コンテンツ（7cm2mm の直線の引き方）

電子黒板を使う上でのねらい

30cm ものさしを使っての○ cm ○ mm の直線の引き方を説明する場合に、実物をそのまま使ったのでは小さすぎて、その方法を理解させることは困難である。そこで、デジタルカメラの映像を電子黒板を通して拡大して提示することにより、一斉学習で理解できるようにした。しかも、写真ではなく、直線の引き方を動画として撮影したもので提示することにより、写真よりも分かりやすくなるとともに、くり返し見られることにより、直線の引き方の定着を図る。



電子黒板を使ったことによる効果

直線を引いている実際の映像を見せることにより、児童が興味、関心をもって学習に臨むことができた。また、くり返し見せたことにより、直線を引く手順の定着を図ることができた。

～ 上先生からの一言 ～

先生が実際に直線を引く動作を撮影し動画として電子黒板上で見せるということがミソですね！それによって、児童が親近感をもつ教材を、大きく学級全体に見せることができる、そしてなにより何度もくり返し見せることができるという学習効果があります。動画として再生するのですから、一時停止をかけてその映像に電子ペンで書きこむことにより、ものさしの持ち方やえん筆の運び方などさらにピンポイントな指導が可能になるのではないのでしょうか。

